

ゲーテ大学 言語学・文化学・芸術学部

ゲーテ大HGP創英プレゼンスEB学は、1914年の設立期より、社会科学における研究、教育に重点が置かれ、1924年には、のちに「フランクフルト学派」、「批判理論」の名称で有名になる社会研究所が設立された。言語学・文化学・芸術学部のオリエンタル及び東アジア学に含まれる日本学では、日本文化・文学研究、日本文化史・思想史研究が、二本の柱となっており、本学部のカリキュラムと重なり合うものも多い。



ゲーテ代表作『ファウスト』『若きウェルテルの悩み』



留学した先輩たちの体験談から

学校生活①(授業について)

- 日本学部に所属し、日本について学んだ。
- 授業はドイツ語のものを選択。日本についての授業なので理解しやすいと思う。
- 日本学と語学の課題は、プレゼンとレポート。レポートは文字数が多い。学期末の試験に向けて復習することが大切！

日常生活

- 日独の交流会に毎週行った。ドイツで暮らす上のアドバイスもらえるうえに、ドイツ人の友達も多くなるので、いい交流の場だと思う。
- 寮の人と一緒に食事に行ったり、すれ違つと絶対に笑顔で挨拶をするし、寮の雰囲気は良い！

学校生活②(学風・学生について)

- 日本人の留学生は少ないが、留学生は多い印象を受けた。
- 日本学部は日本が好きなお人ばかりなので、すごく興味を持ってくれた。
- キャンパスは大きくて綺麗なため、休日に学校に行って課題をしたり、庭でリラックスしたりできる。

アドバイス！ 英語での留学として留学条件を満たしましたが、実際には多くの授業がドイツ語でしたので、毎日語学学校に通い、必死にドイツ語の勉強をしました。最初、留学生同士では英語を話すことも多かったため、英語を話す力もあればなお良いと思います。語学以外にはドイツの文化を調べておくと、生活しやすいと思います。

どうしてここを選んだの？

- 自分が今まで全く勉強したことのないドイツ語を話すドイツに飛び込めば、英語圏よりもさらに環境が変わり、学ぶものも多いのではと思いました。
- ずっと日本で育ってきた私は、日本の価値観が当たり前になっていました。自分の知らない世界を知り、自分の価値観を変え、新たな考え方を知りたかったです。
- 日本から見た日本と、世界から見た日本は違うのではないかと、客観的に日本という国を見たいと思いました。

留学を考えている人へ

留学中に大変なこと、辛いことはたくさんあります。でも、そんなときに助けてくれる人は絶対にいます。私は留学を通じて、もちろん語学や文化も学びましたが、人のやさしさも学びました。不安もあると思いますが、自分の周りの環境を変えることで、自分の価値観は大きく変わります。自分の時間が多くある学生のうちに留学をし、日本に住んでいるだけでは気づくことのできない、新しい考え方や文化に触れてほしいです。

(2017年度留学：女性)